

活動しやすさ	深瀬	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが対話し互いの意見に耳を傾けることが大切だと教え気付かせてくれる人の存在</li> <li>活動しやすい状態を維持し続ける、メンテナンスを続ける人・機能</li> </ul>
地域愛	秋元	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民としての主体性の根源</li> <li>地域愛があれば人がつながる、情報共有もできる</li> </ul>
レベルアップ	関野	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士見市の社会教育を見た時に、数もあるし質も悪くないと思うが、そこから更にレベルアップさせるにはどうしたらいいか</li> </ul>
地域とのつながり	小栗	<ul style="list-style-type: none"> <li>VUCAの時代において、動じず、強い心を持つことができる子どもを育てる環境作り</li> </ul>
多くの人に活動が広がる工夫	戸田	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代に関係なく、子どもから高齢者まで一緒に活動できる場</li> <li>情報を得られていないから参加しないのか、興味があるものではないのか、どちらが理由かは分からないが間口が狭いのではないか</li> <li>富士見市独自の、みんなが楽しめる何か</li> </ul>
対面で繋がる場や機会	蘇武	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の多面性、色々な人がいるのだという気付き</li> </ul>
自由さ、安心感	内海	<ul style="list-style-type: none"> <li>気が向いたときに、係われる時間の中で、自分が楽しめる場</li> <li>参加に対するハードルの低さ</li> <li>子どもも大人も一緒に楽しめる機会をつくるためには、保護者の巻き込みが必要</li> </ul>
担い手の育成	八木橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>人付き合いを厭わない子ども</li> <li>中学生から</li> </ul>
子ども真ん中	秋元	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔を知っている関係づくり</li> </ul>
中学生～大学生の巻き込み	戸田	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい人を引き込む仕組み</li> </ul>
参加しやすい活動の形	渡邊	<ul style="list-style-type: none"> <li>強制ではない安心感</li> <li>出入りのしやすさ、人との距離感</li> </ul>
子どもを核に大人もつながる	本田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中の居場所、存在が認められている場</li> <li>20～30代（保護者）を巻き込む仕組み</li> </ul>
外国人を中心に	深瀬	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでにない層の巻き込み</li> </ul>

<実現したい状態・解決したい課題>

- 一人ひとりが地域愛を持っている（地域のつながりがあり、人々の居場所になっている）
- 社会教育・地域活動を持続するための担い手が常にいる（担い手不足の解消）

↓そのために

↑そうすることで

<目指したいこと>

- 数多くの多様な人たち（高齢者から中高年、若者、子どもまで幅広く、外国人も）が、ハードルを感じず参加でき、自分なりの適度な距離感で自ら望んで関わり続けられる、地域（市、学区、町会など）の場づくり（イベント、地域活動、団体活動など）

↓そのために

↑そうすることで

<特にフォーカスすると良さそうなポイント>

- 多くの人を巻き込み、一体感を持ってもらうには「子ども」がキー、子どもを中心にすると皆協力しやすい
- 子どもにそういう場に参画してもらうには、企画や仕掛けも大事だが、親世代への働きかけが重要

<目指したいこと>に合意できた後、どう進めていくか？

目指したいことを、(対象者 × 関わり方 × 地域 × 場)に要素分解して、各要素のうち、どこ・何を取り上げるのか、決める

数多くの多様な人たち(高齢者から中高年、若者、子どもまで幅広く、外国人も)が、

⇒対象者をどのように分類できるか？そのうちのどこにフォーカスするか？(複数やすべてもあり)

ハードルを感じず参加でき、自分なりの適度な距離感で自ら望んで関わり続けられる

⇒さらにどんな要素に分解できるか？(例：知る・認知すること、参加しやすさ、居心地の良さ、自由度…)

そのうちのどこにフォーカスするか？(複数やすべてもあり)

地域(市、学区、町会など)

⇒地域の単位にはどんな大きさや種類があるか？そのうちのどこにフォーカスするか？(複数やすべてもあり)

場づくり(イベント、地域活動、団体活動など)

⇒どんな場があるか？そのうちの何にフォーカスするか？(複数やすべてもあり)

<メールの説明文>

投影して見ていただいたものの並び順を変えて、表現も見直しました。(2枚目)

ご覧いただき、これでよさそうか、修正すべき点はないか、ご意見ください。

当日の進め方として、1枚目の各自の発表ポイントと照らし合わせてご覧いただき、「前回のみなさんのお話をまとめるとこうなりました」というと納得感高いかなと思います。

さらに、前々回の配布資料の「理想の姿まとめ」と前回の配布資料の「強み・弱み」も参照していただきつつ、書いてあることが重なっていることも確認したいと思います。

みなさんからご意見をいただき、「目指したいこと」で合意できたら、3枚目を追加配布するか、口頭で話すかして、今後の進め方のイメージを合わせて、それぞれどんな種類があるか考えてきてくださいと宿題にしてはどうかと思います。

後日シートをメール送付して、その次の会議前に提出してもらい、事務局でまとめてもらったものをその次の会議で検討して、フォーカスポイントを決めていくという流れでどうでしょうか。